

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	振興計画策定事業		コード	担当課	企画課 企画振興班
			06-01-10-02	担当者	青木弘行
事業実施期間	平成17年9月1日から平成19年3月31日				
総合計画 事業(政策)体系	大項目	健全で自立したまちづくり			
	中項目	簡素で効率的な行財政運営			
	小項目	その他事務管理			
	施策	企画			
電話	0869-64-1871				

事業について	
目的	新市まちづくり計画に基づき、市政運営の指針となる新備前市の10ヵ年(平成19年度から平成28年度)の振興計画を策定する。
対象(誰のために)	備前市民および備前市の行政サービスの提供を受ける者
内容	振興計画をより良いものとするため、まちづくりに対する市民の意見や意向をアンケート調査を実施・分析した。また、備前市振興計画策定委員会を開催し、各部会においての素案がまとまった。

事業の結果				
実施項目	17年度			
	回数など	(単位)	回数など	(単位)
委員会開催回数(延べ)	15	回		
アンケート回収率	59	%		

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	1,481	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	6,795	受益者負担		人件費		受益者負担	
		市債				市債		
合計	8,276	一般財源等	8,276	合計	0	一般財源等	0	

必要人員	0.65	人		
結果指標名	委員会開催回数			
結果指標量	15			
単位	回			
対前年比	—		0.00%	
事業費	8,276,000	円		
単位当たりコスト①	551,733	円		

結果指標名	委員会開催回数			
結果指標量	15			
単位	回			
対前年比	—		0.00%	
事業費		円		円
単位当たりコスト②		円		円

事業の成果			
成果指標名	振興計画の策定	式又は説明	振興計画原案を作成し、振興計画審議会上に報告し答申を得る
成果指標量	17年度		
対前年比	ほぼ策定できた		#VALUE!
到達目標値	計画原案策定	到達目標年度	平成18年度

事務事業の評価		
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等: 地方自治法
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input checked="" type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている

総合評価	
コメント	総務部会(4回開催)・厚生部会(4回開催)・産業建設部会(4回開催)・教育部会(3回開催)の各部会においての素案がまとまり、振興計画の原案を審議会上に諮る前の最終調整を行う役員会まで開催できた。
評価区分	<A~E> <b>B</b>

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合
翌年度結果指標量①	
目標値	結果指標量②

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。